

こんにちは。Haruです！
今回は第4章、それでは行ってみよう！



スタートはやはり街の宿屋。ここにきて今更だけどこが我らの拠点らしい笑

遠征に出ておられたアストリッドの父が帰還し任務の報告をすると、新しくエルフの魔法使いカレンについて調査することとなった。街のエルフ族に話を聞いてみるが有力な情報は得られず…。そこでほかの部隊で情報収集していたアストリッドがエルフ族の現在の居場所を掴み、一行はそこへ向かうこととなった。

フィールドは今までの湿地帯や砂漠ではなく、街から出た草原のフィールドと同じです。南側の橋を渡り現在のエルフ族の村に向かいますが、人間族との戦闘跡地となっていました。そこで一行は近くの城下町に向かうことにしました。



この街の団長に話を伺うとエルフ族は大罪を犯し、現在尋問中であるとのこと。リゼットとフィンがどうしても少しでも話を聞きたいと願い出ると、団長は妖精の森にいる盗賊人を倒してこればエルフ族への尋問を許可すると言ったため、一行はその森に向かうことにしました。



森に入ると薄暗いので道が少し見えにくいかもしれません。注意して進みましょう。



中盤に来ると盗賊人エルミナの手下みたいなのと戦い、この奥でエルミナ自身と戦うこととなります。



そして無事エルミナを倒して連行する一行ですが城下町に入ろうとしたときにエルミナはエルフ族の子供たちを守っていたことを知り、城下町入口の兵士が魔族であった(戦いあり)ことを教えてくれた彼女とある契約を交わしました。

そして街に入り団長の元へエルミナを連れていくと彼女は団長が郷魔族であることを暴きました。ちなみにここも上の画像と同じ魔物と戦います。このときの戦いでは完全に倒すことは出来ませんでしたが、一行は城の手前の牢獄に捉えられたエルフ族を救助しに行きますがそこでもう一度郷魔族も戦います。これが悪戦苦闘で何度倒されたことか…。その郷間族は自分含め3体に分

身します。残り1体になると分身を繰り返して永遠に戦いが終わらないので、自分のターンのときに完全に全員倒さないといけません。ここはめげずに何度でも挑戦しましょう。

この郷魔族を倒せばこの章はクリアです。あとはストーリーを楽しんでください。

この章のラストは何回でもめげずに戦うことでクリアできます。それかレベル上げて一気に倒していくかですね。凄く手強かったので皆さんも注意してください。

それではこの章の紹介は以上です。ばいばい。